

地域に根ざした体験活動を基軸とする ESD の取組

石狩市立生振小学校

<取組の概要・特色>

ユネスコスクールの活動として、学校田での稲作体験や育てた野菜の収益金をユネスコ協会等に募金するユネスコファーム活動を実践しています。これらの活動を柱として、地域の自然環境や地域人材を活用した体験活動を重視し、身近な環境に対する児童の興味・関心を高めるとともに、持続可能な社会の実現を目指して、自ら課題を見付け、友達と協働して学び、ふるさとのよさを発信できる児童の育成を目指しています。

※ユネスコスクール：ユネスコ憲章に示されたユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校です。文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールをESDの推進拠点として位置付けています。

■平成27年度の実践例

○ESDカレンダーに基づく各教科等との関連を図った指導の充実

各教科等との「学びのつながり」を明確にしたESDカレンダーを作成し、総合的な学習の時間を中心に環境教育に関する横断的・総合的な学習、探究的な学習を展開しました。

<第6学年ESDカレンダー（一部抜粋）>

教科	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
理科		もの遣え方と空		植物の体			土地のつくりと変化	
総合的な学習の時間		学校田活動			ユネスコファーム活動			

※太い矢印は、関連が深い内容

○ESDの視点に立った環境学習の実践

(1) 田植えや稲刈り等の体験などを行う学校田活動

稲作体験等を通して豊かな感受性を育てること、収穫した餅米を用いた地域の方との餅つき集会を通して、地域の方々への感謝の気持ちを育てることなどをねらいとして、学校田活動を実施しました。



<4月もみまき>



<5月田植え>



<9月稲刈り>



<12月餅つき>

(2) 野菜の栽培や収穫した野菜の販売などを行うユネスコファーム活動



<収穫した野菜の販売>

野菜の栽培活動等をとおして豊かな感受性を育てること、収穫した野菜の販売と収益金の募金を通して世界の平和と人々の幸福に貢献しようとする態度を育てることなどをねらいとして、ユネスコファーム活動を実施しました。

<推奨理由>

国立教育政策研究所の指定を受け、ESDカレンダーに基づく各教科等との関連を図った計画的な指導を展開しています。また、学校田での稲作体験、野菜の栽培活動等の地域の自然環境や地域人材を活用した体験活動の充実を図っています。